

加東市ジュニアゴルフクラブ ルールとマナーの手引き

～ゴルフはスコアより、ルールやマナーを守る方が格好いい!～



保護者の皆様へ

ゴルフ場関係者にあいさつ

加東市ゴルフ協会の事業は、各ゴルフ場の協力の他、ゴルフ場で働く人や市の関係者、ゴルフ協会のボランティアスタッフ等多くの方々の協力で運営しております。お子様や保護者の皆様にも、大きな声で気持ちのいい挨拶をしていただくようお願いします。

ゴルフにふさわしい服装(ジーパン、Tシャツ、スリッパなどはNG)

ゴルフ場では、ジュニアゴルフレッスン関係者以外のお客様も出入りをされます。
その為、ゴルフ場では、お子様だけでなく保護者の皆様もゴルフ場にふさわしい服装をお願いします。

【NGな服装】

- 襟なし、タンクトップ、Tシャツボトムスにインできないショート丈のトップス
- ジーンズ、ホットパンツ
- メタルスパイクシューズ、サンダル
- スウェット、ジャージ、露出度の高い服

ゴルフ場内または送迎時の服装

コース内ではプレーする、しないに関わらず、保護者の皆様にも、下記の格好に着替えていただくようにお願いします。

尚、ジュニアゴルフクラブでは、ロッカー等の貸出がない為、送迎のためにパターグリーン周辺に入る場合は、下記の格好でご来場ください。

- ・ 襟、袖付きのシャツ
- ・ 男性はベルト着用
- ・ ロングパンツ（女性は短すぎないスカート可）
- ・ ゴルフシューズまたは運動靴

送迎時の注意事項

【コースレッスンの場合】

保護者の皆様は集合場所まで、ジュニアゴルファーを連れてきていただき、集合ください。

コースレッスンでは、ジュニアゴルファーのスタート後、一度解散となります。

駐車場（車）の中で待機いただくか、ゴルフ場外でお過ごしください。

その後、終了時間になりましたら、集合場所へ迎えをお願いします。

クラブハウス内やゴルフ場内での時間待ちは出来ませんので予めご了承ください。

送迎時の注意事項

【練習場の場合】

保護者の皆様は受付まで、ジュニアゴルファーを連れてきていただき、集合ください。

レッスン用の練習場打席へは、ジュニアゴルファーのみの立入をお願いします。

終了時間になりましたら、集合場所へ迎えをお願いします。

レッスン用の練習場打席へ同行することは出来ませんので予めご了承ください。

集合時間を守る

ジュニアゴルフクラブは、多くのお子様の参加やコーチの皆様、ゴルフ場関係者の皆様の協力で成り立っています。

その為、お一人が遅刻や無断欠席をされますと多くの方にご迷惑をおかけすることになります。必ず集合時間を厳守するようにお願いします。

遅刻、欠席する場合は必ず連絡する

ジュニアゴルフクラブでは出欠の報告を前もって確認しており、定員に達しますと、他のお子様をお断りします。その為、遅刻や欠席する場合はなるべく早くご連絡をお願いします。

ジュニアの皆様へ

ゴルフ場関係者にあいさつ

加東市ゴルフ協会の事業は、各ゴルフ場の協力の他、ゴルフ場で働く人や市の関係者、ゴルフ協会のボランティアスタッフ等多くの方々の協力で開催しております。

ジュニアの皆様は、大きな声で気持ちのいい挨拶をしましょう。

後々、大会に出場する場合や、学校の部活動でその挨拶は必ず生きてきます。

コースでの注意事項

コースを回するのに必要なものを用意しておく
(ティー、ボール、グローブ、目土袋など)

・ゴルフボール

初心者はOBや池ポチャでボールをなくすことが多いので、最低でも20球は持っていきましょう。

ボールは消耗品なので最初は安いもので構いません。1ダース2,000円程度の新品ボールやロストボールがおすすめです。

また、ボールが林などに飛んでしまっても見つけにくいことが多いので、ボールにペンなどでマークなどをしていくと自分のボールだとわかりやすいですよ。

コースではボールは最低でも2球ポケットに入れておきましょう。OBやボールを失った時にすぐに打ち直しすることが出来ます。ポケットに入れておくのが邪魔な方はゴルフパンツに付けることが出来るボールケースもあるのでそちらもチェックしてみてください。

コースを回するのに必要なものを用意しておく (ティー、ボール、グローブなど)

- ・グローブ

ゴルフクラブにはグリップがついており、滑りにくいようになっていますが、汗をかくとそれでも滑りやすくなってしまいます。グローブをはめて、汗をかいてもグリップ力を高め、滑らないようにするのが重要です。

また、グローブには手に豆ができることを防ぐ効果もあります。

自分の手にフィットするサイズのグローブを持っていくようにしましょう。夏場は汗でグローブが濡れてしまう場合があるので複数枚用意するのがいいでしょう。グローブには両手用もあり、力が弱い女性にオススメです。両手につけた方が握力を補いやすく、手に負荷もかかりにくいメリットがあります。

コースを回するのに必要なものを用意しておく (ティー、ボール、グローブなど)

・ティー

ティーはティーショットのときボールを乗せるために使うものです。

ティーにはドライバー用の長いものと、ショートホールなどで使うアイアン用の短いものがあるので、両方持っていきましょう。

ティーを折ってしまうこともあるので、ティーは多めに持っていきます。ドライバー用はショートホール以外のホールですべて使うので15本ほど、アイアン用はショートホールのみで使うので5本ほどあるといいでしょう。

また、コースではすぐ使えるようにゴルフパンツのポケットに数本入れておきましょう。

・マーカー

マーカーはグリーンにボールがあるときに目印に使うものです。マーカーは100円硬貨程度の大きさのものが一般的です。最近はキャラクターのものや立体的な物など、様々な種類が売られているので遠おくからでも発見しやすいものを選びましょう。

コースを回るのに必要なものを用意しておく (ティー、ボール、グローブなど)

・スコアカウンター

自分が何回打ったのかを忘れてしまいがちな初心者の人には、とくに便利なアイテムがスコアカウンターです。

アナログ式とデジタル式があり、ホールごとにスコアをカウントしていく場合はアナログ式（500円前後）、全ホールのスコアを記録しておきたい方にはデジタル式がおすすめです。

・タオル

汗を拭くためのタオルを持っていきましょう。特に夏場は多めに持っていくことをおすすめします。クラブを拭く用のタオルはゴルフのカートに用意されていたり、キャディさんが用意してくれていたりとするケースが多いので、自分で持っていく必要はありません。レインウェアなどの雨具もすぐ取り出せるようにキャディバッグのポケットに入れておきましょう。

素振りをする時は、自分の前後左右を必ず確認

素振りをする時は、自分の前後左右を必ず確認してください。

もし他のゴルファーにあたったら、「ごめん」の一言では済まされません。ましてや、プレー進行が遅くて後続組までも大渋滞になります。

場合によっては、前歯を折ったり、失明させたりなど、救急車を呼ぶような事態になりかねません。

素振りなのに、本番さながらにフルスイングして、ヘッドやシャフトが他人の頭部や顔面を直撃すれば、それこそ生命に関わる重大事故にもなります。

まず、クラブは殺人凶器になることを認識して素振りをしてください。

グリーン上ではスパイクを引きずって歩かない

グリーン上では足を引きずるようにして歩いてはいけません。2019年のルール改正以前、「引っかけ傷」はボールマークのようにいつでも修復することができませんでした。そのため、パットのライン上に引っかけ傷があっても全員がホールアウトするまで修復することはできないという状況が生まれていました。

2019年のルール改正でボールマーク同様にいつでも修復することが可能となったとはいえ、グリーン上に傷を作って良いと言うわけではありません。引きずって歩かないように注意してください。

グリーン上で人のラインは踏まない

ラインとはボールがカップインするまでに通るコースのことです。同伴者のラインを踏んでしまうと、パットのコースが変わる恐れがあります。グリーンに上がった際には同伴者のボールの位置を常に確認し、ラインを踏まないよう気をつけましょう。

ラウンドする時は必ず目土袋をもつこと 忘れた場合はゴルフ場に借りる

ゴルフコースの保護はもちろん次のプレーヤーが気持ちよくラウンドするために、欠かせないのが目土です。

削られた芝を土で覆うことで、芝の回復が早くなり、ディボットを防止できます。

目土する事の理由の1つ目、最大の理由はゴルフコースの保護になります。ターフやダフった跡は地面がめくれ上がってしまい、そこから芝は枯れていきます。それを放っておくと、”でこぼこ”になってしまいセカンドショットやサードショットが難しくなります。

2つ目は、後続組のプレイヤーのためです。

自分のショットでディボット跡を作ってしまった場合、後ろのプレイヤーが凹みに入ってしまうかもしれません。そうすると不利になるので、後続組のことも考えてラウンドしましょう。

コースで目土袋を持って歩くジュニアゴルファーはとても格好いいですし、できるゴルファーとして一目置かれます。

忘れた場合は、ゴルフ場のスタッフの方に、借りるようにしましょう。

ピッチマークを直す

ボールマーク、正式にはピッチマークといいます。ルールではパット線上のスパイクマークや靴の跡は直せませんが、ボールマークと、古いカップ跡のデコボコは直すことができます。

よくテレビ中継で、プロたちが自分のボールマーク以外でも、けっこう熱心に直しているシーンが映ります。プロは誰よりもグリーンを大切に思っています。

ジュニアゴルファーの皆様もボールマークを見つけたら、ホジホジして修復してください。

分からない場合はどんどんコーチにやり方を聞いてください。

バンカーショットをした場合はきれいにならす

バンカーならしのために使う道具はとレーキ言い、別名「トンボ」です。

バンカーの砂をならす際は必ずこの道具を使わなければなりません。バンカーの際だから目立たない、跡や凹みが大したこと無いと勝手に自己判断し、足やクラブフェースで軽くならすなどの行為は絶対に止めてください。それらはマナー違反どころかゴルファーとして格好悪いです。

また、バンカー内に入ったら、レーキを使って砂をならし、元の状態にしっかりと直すようにしてください。

また、なるべく近いところからバンカーに入ってください。入るのは大切なことなのですが、低い所から入ることがより大切なマナーです。

そして出る時は、バンカーならしをしてから、一番近い所かつ低い所から出ます。

バンカーの縁は崩れやすいので、高い所から出入りをするとボロボロと壊れてしまいかねません。ボロボロに壊れた砂を修復するのには何倍もの時間と手間が掛かります。バンカーショットの後は、打つ前の状態に戻すのがバンカーのマナーの基本です。

練習場での注意事項

他の人の打席には近づかない

他の人が打っている打席にはなるべく近づかないようにするのが打ちっぱなし練習場のマナーの1つです。

これは危険だからで、いくら自己責任とは言え、ケガをさせてしまった方にも多大な迷惑がかかってしまいます。

不用意に近づけば大怪我の元になります。十分周りに注意しましょう。

打席より前に出ない

練習場では、ものすごく上手な人もいれば、ゴルフを始めたばかりというゴルフ初心者もいます。打ったボールが前に飛ぶ人ばかりではなく、ミスヒットでボールが横に飛び出してしまいう人もいます。

そのため打席より前に出ると、打ったボールが当たってしまう可能性がありますので、打席より前には絶対出ないように気を付けましょう。

たまに少し前に転がっているボールを前に出て拾っている人がいますが、これは完全にマナー違反ですしケガの可能性もありますので絶対にやめましょう。

打席以外で素振りをしない

打席以外での素振りは、大変危険です。練習場においては打席以外での素振りは危険行為かつ迷惑行為にあたり、利用規約の禁止事項となっています。

ゴルフ練習場の通路は狭く、万が一、勢いのついたゴルフクラブが人に当たった場合、大ケガにつながります。

安全のために、素振りは必ず打席に入ってから行ってください。

各練習場の決められているルールを守る

ゴルフ練習場は、楽しく真剣にゴルフの練習をする場所です。レジャー施設ではないため、大騒ぎをしないようにしましょう。

もちろん、危険な行為が許される場所でもありません。

また、各練習場の決められているルールがあります。もし迷った場合は、練習場のスタッフに確認しましょう。